

平成 24 年度 あおい会同窓会・総会盛大に

した。まず、加藤正子会長、根本聡校長からそれぞれあいさつを頂きました。続いて、宮田満里子・吉成隆一副会長より来賓の紹介があり、山田修一前校長から来賓代

梅雨の中休みの晴れ渡る青空のもと、217名の会員ならびに現旧職員の先生方にお集まり頂きました。同窓会事務局の栗田誉子先生の進行により、当番学年の小笠原保代さんの開会のことで総会の幕を開けま

頭で懇親会が始まり、豪華な料理が次々と運び込まれました。ご馳走を味わいながら、久しぶりの再会を喜び合い、学生時代の思い出話に花を咲かせる様子が、至るところで見受けられました。



平成24年度あおい会総会が7月1日(日) 水戸京成ホテルにて開催されました。

あおい会総会報告

普通科 昭和57年卒業
当番幹事 吉岡 道子

表あいさつを頂きました。

総会の議長は常任幹事の大信淑子さんが務め、皆の視線を惹きつける流暢な話術で進行され、すべての議事が承認されました。次に、寺門徳教先生の乾杯の音

茨城県立水戸第三高等学校

あおい会 だより

第17号

発行所
〒310-0011 水戸市三の丸2-7-27
茨城県立水戸第三高等学校
同窓会 あおい会
TEL 029-224-2044
FAX 029-225-4524
URL <http://www.mito3-h.ed.jp/>
Eメール aoui@mito3-h.ed.jp
印刷所 株式会社 きど印刷所

懇談を楽しんだ後は、同窓会恒例の余興に入りました。当番学年の宮田満里子さん・大江サナエさんのほつらつとした声によって進行され、オープニングは、平成9年当番学年の渡邊典子さんのピアノ伴奏で音楽科全員による華やかな二部合唱が始まりました。続いて、42年当番学年の横川和子、江幡和子さんの息の合ったピアノ連弾や、37年音楽科直井文代さんの指揮により授業で歌ったというクラスの合唱の三曲が披露されました。余興のフィナーレは、37年卒業生全員による「高校時代の思い出を浮かべながら」というテーマで、懐かしい話をした後、「学生時代」「知床旅情」といった当時流行した歌を歌い、会場が郷愁の空気に包まれました。



川上茉莉絵さん



37年音楽科クラス合唱、直井さん、八十島さん



37年卒業生全員でステージへ



37年司会進行とピアノ/H9年渡辺さん



42年ピアノ連弾 横川さん、江幡さん

余興のフィナーレ

家庭科 昭和37年卒業
大江 サナエ



「何年ぶりかしら?」「うーん」手を取り合って喜ぶ姿が見られました。：数え切れない数々の思い出を作り、3年間を過ごした高校生活：

私達は今年当番学年に当たっていました。しかも昭和37年3月卒は当番学年の最年長と言うことで余興にも力が入りました。

余興のフィナーレは、昭和37年音楽科卒の八十島啓子さんのピアノ伴奏で、大合唱しました。思い出を共有する歌声には一体感があふれ出ていました。

さいこの曲は「知床旅情」：世界遺産にもなった知床の美しい自然の良さを思い浮かべて心一つに歌いました。この、気持ちの高揚や一体感はどこから来るのでしょうか。歌詞や思い浮かべた風景からでしょうか。

私には、水戸三高の同窓生として気持ちを歌っていたように思われてなりませんでした。

ともかく、皆様のご協力で、和やかに当番学年の役が果たされましたことに感謝いたしております。200名以上の参加者はすばらしいと思います。

次回もまた、元気で、笑顔で、会える事を願っております。



創立九十周年を迎えるにあたって

あおい会会長 加藤 正子（菱沼）

（昭和34年芸能科卒業）

母校三高がまもなく創立90周年を迎える今日、同窓会である「あおい会」は、（水戸三高30周年を記念して昭和31年に発足した）60周年を迎えることになります。

初代会長：成瀬梅様、二代会長：石井千代乃様、三代会長：秋山千賀子様、またその時々の幹事の皆様、そして、何といっても、一番ご協力くださった会員の皆様方

のお力添えやお励ましによりまして、「あおい会」の活動を続けて参ることが出来ました。現在24000余名の会員を有することになりましたが、今年も2月28日の入会式におきまして、304名の新会員を迎えることが出来ましたことを大変うれしく思っております。

また創立90周年に先立ちまして、記念の会員名簿を発刊することになり、調査・編集にご尽力くださった方々に感謝いたします。

三度の火災による校舎の焼失、あおい会館の建設、県庁の新築移

転にからんだ三高移転問題に対する反対署名運動（35000名の署名が集まった）、創立五十周年記念に創られたブロンズ像（乙女の像）、最近では成瀬元会長や秋山前会長のご逝去、そして2年前の東日本大震災による被災など、信じられない大きな出来事が続きました。

今、長い歴史と伝統の流れの中で、文武両道の精神を目標として、学習にまた部活動にと一生懸命励んでいる姿や、人に優しく思いやりの心を持って接している在校生の皆さんを見るにつけ、何と頼もしく愛しい後輩の皆さん達だと思わずにはいられません。

今日の平和で安全な日々を、しみじみとありがたく感じているところですよ。



ご挨拶



ごあいさつ

学校長 根本 聡

聡

あおい会会員の皆様方には、日頃より、本校の教育環境の実現のために、ご支援ご協力をいただいておりますことに對しまして、厚く御礼申し上げます。

本年度も、4月に新入生を迎え、学校生活が始まりました。普通科241名、家政科40名、音楽科30名の合計311名の新鮮な面々が、本校の歴史に新たな一ページを加えてくれることを期待しております。

本年度の入学生から、新しい入学選抜制度となり、音楽科も定数を確保することができました。次年度以降も、水戸三高を目指す多くの優秀な生徒達を迎えられるよう、教職員一丸となって、教育環境の整備に邁進して参る所存でございます。

さて、本校も長い歴史を重ね、今年で創立87年となり、90周年も、もうすぐ目の前というところとなって参りました。前段として、5月には同窓会名簿が10年ぶりに発行されますが、周年事業につきましても、あおい会の役員の皆様方と検討を進めていかなければならない時期となっています。来たるべき90周年に向かい、あおい会の皆様方との連携をより一層密にして、準備に取り組むことが必要となりますので、ご協力の程をお願い致します。

なお、東日本大震災の被害を受けました、諸施設の修復につきましましては、おかげをもちまして3月末までに、ほぼ完了致しました。

ありがとうございました。

また、これまで長い間、生徒達の学習の場として親しまれてきた図書館が、場所を移して、新しく開館します。あおい会の皆様方には、来校された折に、ご覧いただければ幸いです。

今後とも、生徒達が生き生きと活動できるよう、教育環境を整えて参りたいと考えておりますので、あおい会会員の皆様方には、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、あおい会の益々のご発展を祈念し、ご挨拶と致します。



恩師 特別寄稿



水戸三高と私

小野 久江

昭和40年に24才で赴任、57才退職、その後から72才の現在までつながっている、長い日々のあれこれがい出しされる。それらの懐かしい思い出が走馬灯のように流れ巡るだけのことかと言えば全く違う、私の現在の暮らしにつながっているのだから「感謝」以外には言葉が見つからないのである。あれもこれとも思うけれど、教師を続けようと決心させてくれた出来事を少し書こうと思う。

昭和42年、放火による学校火災、その約2ヶ月後、はじめての子を死産した。あの頃の教職員・生徒の皆さんの励まし、いたわりが教師生活の原点である。産後休暇も

終わりに近い頃、つらい気持ちで校門をくぐった。担任となるクラスへ向かう、火災後の応急措置のプレハブ校舎で、短パンと半袖という体育授業スタイルの生徒たちが大汗をかいて元気いっぱいおしゃべり中、休み時間、私を見つけると息を思いつき吸い込んだように静かになった後で「うあー、先生、だいじょうぶ？」拍手攻めだ、あの時の大きな拍手と「雨が降るとトタン屋根の音がうるさくて授業にならないからカット！」と大笑いする生徒たちの姿は、そのまま私の体中に溶け込んだ。待たれている喜びを味わえた。

2年後長女を出産した。県条例で育児時間2時間が保障されていたが、まだまだ全県に根付いていなかった。産休明けに私が初めて利用できるように、高野惣太郎校長と組合との話し合いができてうれしかった。更に改善を進めながら、生徒たちの入る社会を深く知らなければならぬ、私の日々の悩みや困難、喜びや楽しみ等すべては、後輩の生徒たちがこれからぶつかる課題だと認識した時、仕事を続けていく目標が見えた気がした。卒業生たちは日々成長している。今では、「めだかの学校」の歌詞通り「だれが生徒か先生か……」のお付き合いが続いている。幸せである。

追悼

高野惣太郎先生は、昨年に100才を生きて逝かれました。先生とは赴任が一緒でした。あの頃はマイカーは少なく、往復時に歩きながら諸先輩からいろいろな話が聞けた。先生も「息子がね、ゴムの緩んだ靴下を置いていくんでね、僕がはくんですよ」等と話してくれた。楽しかった。

惣太郎先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。

クラス会1

クラス会へ交流を重ねて

昭和51年普通科卒業
石川 由美子（益子）

昨年12月初め、町ではクリスマスイルミネーションが点灯し始めた頃、私達は5年振りのクラス会を開きました。昭和50年度、小野久江先生担任3年4組です。卒業後数年おきに開催しているクラス会は、今回9回目となりま

す。

20代、30代、40代と、年齢を重ねていく段階のその時々、先生とクラスメイトと顔を合わせて話しをする機会を持つ事ができました。50代となった今、その事にとっても感謝しています。

当日の一人一人の近況報告には感心したり驚いたり共感したりで

ろいろな思いを持って力強く毎日を送っています。お互いに勇気づけられました。

3年4組の皆の明るい力強さのお手本は小野先生です。英語の授業を受けていた頃と少しも変わらないう先生から、クラス会のたびに元気を貰っています。

この日もいつも通りの賑やかさの中、会場となったお店の若い女性が、「私も水戸三高の卒業生です。」と声を掛けてくれました。いつまでも話のつきない様子が、将来の良い見本として後輩の目に映っていただければ嬉しいのですが。

私達のクラス会幹事は持ち回りです。それが回を重ねる事ができている秘訣かもしれません。

この日も会の終わりにには次回の幹事が決まって引き継ぎされました。小野先生を囲んだ10回目の会を楽しみにしています。

先頃の新聞記事の中に、思わず頷きたくなる言葉を見つけました。「人生いろいろ、思い出ほろぼろ、ときには楽しい食事でお返しきしつつ、それぞれの道を歩いていこう。」

また何歩か歩いた先で、皆で会いましょう。



前列左から2人目筆者、3番目小野先生

クラス会 2

52年ぶりの母校訪問

35年普通科卒業
みさよ会代表 鈴木 和美(林)



平成23年古稀を迎え、震災の後、1



映画 桜田門外ノ変 オープンロケセット地
水戸藩四百年記念

年おくれで古稀記念のクラス会。24年2月27日、28日、原点到帰ろうと水戸に集合。周辺の観光を企画しました。まずは母校訪問。当時55名のクラス。当日は全国各地から19名の参加者があり、皆元氣

はつらつ、年齢を感じさせません。

夕方「桜田門外ノ変」のセットを見学しました。奇しくもこの事件から150年目にあたるとか。今こそいろんな事を見つめ直す必要があるのではと、ちよつぱり歴史を感じました。散歩しながら陸橋を渡り偕楽園に。好文亭に上りました。あらためて四方を見渡せば、何と眺めの良い事、日没の千波湖は。

水戸に住んでいながら初体験です。その昔、これだけの施設を作るとは、驚きです。皆懐かしいの連続でした。ライトアップの夜景希望でしたが寒さに負け、日没まで待てずあきらめました。

28日は待望の母校訪問です。卒業して53年、大部分の方は初めてでした。体育館の施設のすばらしさ。フィットネスクラブ顔負けのマシンや卓球台など、半世紀前とは雲泥の差です。県内第一の設備と伺いました。在校生の皆様、素晴らしい環境で勉強、運動が出来る事、最大に生かして下さい。在校生とちよつとだけお話しが出来ました。

その後、弘道館に立ち寄り震災の爪あとを見て参りました。修復のため心ばかりの寄付をさせて頂きました。希望者だけで大洗水族館に立ちより、無事2日間の日程

を終える事が出来ました。

最後になりましたが、私は現在県庁の近くで「花図美フラワースクール」を主宰しています。生涯学習の講師もしております。技術習得は勿論のこと生涯の友を見つける事も魅力の一つだと思えます。「夢は努力次第です」

クラス会 3

3年目の再会

42年普通科卒業
鈴木 悦子(綿引)



恩師 高橋典子先生と集う会(典子)

会」は、卒業して15年目。昭和57年に「第1回3・2クラス会」として某ホテルにて開催されました。

仕事・結婚・出産・育児とそれぞれ多忙な生活の中、クラスの約半数(26名)が出席しました。日頃「○○さんの奥さん」「○○さんのお母さん」と言うように、個人の名で呼ばれる事が殆んどない生活から一転、「○○さん」「○○ちゃん」と旧姓で呼び合う懐かしい友の声。頬を紅潮させ抱き合う友と友。思い出話に花が咲き、時

が過ぎるのを忘れる程歓喜に満ちたあの光景は、今でも鮮明に覚えています。

以来30年余り定期的に開催され、昨年7月「第12回クラス会」を迎える事ができました。幹事役は交代制ですが、自発的に名乗り出て引き受ける事、2度3度。その都度クラスのまとまりの良さを感じています。

恩師典子先生は昭和42年春、私達の卒業と同時に退職されました。3人のお子様を育てながら、画家(二科会同人)として数々の作品を残されています。教師から一転画家の道へ。「人生には様々な生き方がある。成せば成る」事を、体験談を通して教えてくださいました。

20数年前。大病を患いながら無理を押してクラス会に出席されたTさん。「治る」と信じ、辛いリハビリに耐えながらも毎回出席し、回復していく様子を私達に見せてくれました。「Tさん、ありがとう」。私達は頑張っているTさんの姿にどれ程励まされ、元氣をもらった事でしょう。「健康第一・支え合う家族・あきらめない心」様々な事を教えられ勇気づけられました。そして昨年のクラス会では病氣の影響すら見えない程回復し、元氣になった彼女に会う事

ができました。まさに「母は強し!!成せば成る」友は皆目に涙をうかべ、喜び合ったあの日の感動を忘れる事ができません。

典子先生も喜寿を迎え、私達もすでに還暦が過ぎました。健康管理に気をつけながら「また元気に会いましょうね」を合言葉に、「3年目の再会」を誓い、いつまでも「典子会」が続く事を祈りつつ会場を後にしました。



ときの

ひと

《パステル》とともに

昭和60年普通科卒業
七字 純子



— 木箱
のふたを
開ける
と、そこ
には色鮮

やかなチョークのようなスティックが並んでいて、その中の一本を手に取り、真っ白な紙の上にするすると滑らせる。輝くような一本

の線が尾を引く。その上を指で軽くなぞってみる。すると、その輝きはしつとりと落ち着き、やわらかな空気を作り出す—

みなさんは、《パステル》という画材をご存知ですか？パステルとは、細かく砕いた顔料に薄いゴム溶液などを混ぜて、棒状に固め

た描画材です。私はこの《パステル》で25年、絵を描き続けています。

水戸三高では、偉大な彫刻家である能島先生に、そして、茨大でもすばらしい先生方に恵まれ、私も「自分ならではの表現」を追求していきたいと思うようになりました。いろいろな方法を試行錯誤するなか、やつと、自分が思う表現を可能にしてくれる画材を見つけました。それが《パステル》です。

私は現在、高校や絵画教室の講師を務めながら、茨城県芸術祭美術展覧会への出品、県内外での個展開催などパステル画家として活動が続けています。最近では、洋菓子を描面いっばいにリアルに描いた連作《Sweet Memories》や詩画集『こころね』に挑戦するなど、表現の可能性を探っています。

また、『月刊みと』などの情報誌や書籍の表紙、カレンダーの仕事もさせていただいています。

今年は、5月の末から7月の末まで、常陽史料館で企画展が開催される予定です。会員の皆様にもぜひお立ち寄りいただいて、会場で楽しいおしゃべりができました

ら幸いです。

これからも、《パステル》とともに「私ならではの表現」を探求していきたいと思っています。



パステル画作品
Sweet Memories「記念日」



個展風景（同窓生と）



ふれあちゃん



ふれあちゃん プロフィール

なまえ ふれあちゃん
性別 女の子

性格 愛きょうのあるしぐさで、サービス精神旺盛。人とのふれあいを大事にし、みんなを明るく笑顔にすることが大好き。

好きな香り バラ
バラの香りをふりまいて、まわりにいる人たちを心地よくしたい♪

愛称・ふれあちゃん

来年7月に本県で「いばらき総文2014」が開かれる。これは、「全国高等学校総合文化祭茨城大会」のことで、この総文祭のマスケット・キャラクターの愛称が「ふれあちゃん」。水戸三高2年生の石川穂波さんの命名によるものだ。

応募総数1800点の中から最優秀賞を受賞、「創造の花を香り（フレグランズ）高く咲かせよう、若人の文化がふれあう

（フレア）、素敵な文化祭となることを願って名づけました。私の考案した愛称を採用していただきとても嬉しく思います」とコメントしてくれました。



名付け親の石川さん
（水戸三高2年生）

第38回全国高等学校総合文化祭
いばらき総文2014
創造の花を高く咲かせよう
平成26年7月27日（日）—7月31日（木）

学校の状況

平成24年度進路状況

昨年度を大幅に上回る成績を残せるかと有望視されていた卒業生にとっても、

今年のセンター試験の難化は大きな痛手でした。しかし、その様な状況ではありましたが、東京藝術大学に

2名合格という大金星を筆頭に、茨城大学に21名、筑波大学に1名、そして他県大2名を含め、計26名全員が一般入試で国公立大に合格するという大健闘振りを

見せてくれました。また、私立大学でも桐朋学園大学に3名・学習院大学・立教

大学・津田塾大学と有名私立大の合格者も輩出することができ、進学率は昨年並の96%でした。就職についても、無事希望者全員の就職先が決定いたしました。

【国公立大】

東京藝術・茨城・筑波・群馬県立女子・名桜

【私立大】

24年度の合格者数

卒業年度	24
国公立大学	26
私立大学	359
短期大学	22
専門学校等	54
就職	2

水戸市役所・陶芸エンターテインメント(株)

【就職】
水戸医療センター看護・県立中央看護・つくば看護・土浦協同病院看護・茨城理容美容他

【専門学校】

会津大短・青山学院女子短・昭和女子短・大妻女子短・常磐短他

【短大】

奈川・昭和女子・女子栄養・大妻女子・東京家政・国立音楽・東京音楽・文京学院・国際医療福祉・常磐・茨城キリスト他

同窓会あおい会 クラス新幹事

(平成25年3月卒業)

組	氏名	氏名
1	磯崎 夏実	山崎 芽依
2	宇野 愛美	柴田 美樹
3	伊藤みさと	和田明日香
4	古賀 春花	大津 都花
5	菊池 美里	長友 千明
6	橋本さくら	浪野 愛子
K	滝澤 沙季	飛田 佳穂
M	安島 希	鈴木 真純

新会員304名



同窓会、あおい会入会式日に (2013.2.28)

平成26年(2014年) あおい会同窓会のお知らせ

平成26年6月21日(土) 受付 11:00 開始 11:30～
会場 ホテル テラス ザ ガーデン水戸
水戸市宮町1-7-20(水戸駅南口直結) 電話029-300-2500

あおい会同窓会・総会を開催します。
水戸三高卒業生の会員の皆様、お友達誘い合って御参加下さい。お待ちしております。
(同窓会ホームページからでも御参加受け付けます)
この年の運営・進行に当る当番学年クラス幹事は次の通りです。
昭和39年、44年、49年、54年、59年、平成元年、平成6年、11年3月の卒業生です。
当番学年クラス幹事は事務局から連絡がありますので、総会前の会議に必ず出席して下さい。

平成25年3月 ご退職の先生方

教諭 秋山 正一先生
事務室長 河崎 孝典先生

平成25年3月 ご転入の先生方

教頭 柴田 京子先生(校長太田二高へ)
教諭 井上 宏孝先生(高校教育課へ)
小佐 正代先生(図書館へ)
係長 佐藤 茂一先生(図書館へ)
高橋 芳子先生(歴史館へ)

平成25年4月 ご転入の先生方

教頭 入野 洋一先生(鉢田二高から)
教諭 大野 智史先生(新採)
倉田 和幸先生(古河二高から)
再任教諭 小坪 洋一先生(多賀高から)
事務室長 石川 石 (太田二里美高から)
係長 和田 高広 (太田二高から)
※講師、非常勤講師を除く

編集後記

「あおい会だより」を担当して7年、編集委員も数人の交替はありましたが、ここに何とか17号をお届けすることが出来ました。

願うことは1人でも多くの卒業生に読んでもらい、「あおい会同窓会」に親しんでもらうこと。

今後とも皆様のご協力をお願い致します。

なお、創立90周年記念の「同窓会名簿」もこの時期に発行されました。

どうぞご利用下さい。

編集委員 宮田満里子 小沼 佳子
小川 里恵 小貫 早苗
綿引志雅子 宮田 桜子

茨城県立水戸第三高等学校の同窓会・卒業生のホームページは
URL <http://www.mito3-h.ed.jp/> 又は
<http://www.mito3-h.ed.jp/dousoukai.html> です。

同窓会事務局へのご連絡は
e-mail aoi@mito3-h.ed.jp です。

会員の皆様へ連絡を差し上げていますが、大切なお知らせができないことがあります。

つきましては、住所、その他の変更がありましたら、常時あおい会で受付しておりますので、上記までご連絡をお願いします。

ご用件・ご連絡先・卒年をお忘れなく記載して下さい。